

## 尋常性痤瘡(ニキビ)と外用薬について

ニキビが医学的には「尋常性痤瘡」という名前が付いている皮膚疾患の一つである事をご存じでしょうか？多くの方が経験するお肌のトラブルであり、とても身近な疾患です。今回はニキビに処方される外用薬についてお話ししたいと思います。

### ●ニキビとは？

ニキビの発症には、肌の代謝と脂質の代謝が関係しています。これらの代謝が低下すると毛穴に皮脂や角質などが詰まり、さらにそこにアクネ菌が感染することによって毛穴の中に溜まった皮脂を栄養として増殖し、炎症を発生させます。

また、それぞれの状態によって違う名前と呼ばれることがあります。

- 白ニキビ：皮脂腺から分泌された皮脂が毛穴からスムーズに排出されず毛穴に溜まっている状態
- 黒ニキビ：毛穴の皮脂が酸化して黒くなっている状態
- 赤ニキビ：毛穴が炎症を起こして赤くなり、膿が溜まっている状態
- 黄ニキビ：赤ニキビの炎症が悪化して黄色の膿ができた状態  
「ニキビ跡」ができる可能性が高くなります
- 紫ニキビ：毛穴の深い部分に膿と血液が混ざり合って溜まった状態  
しこり状態となっており高い確率で「ニキビ跡」になります

ニキビは、早期発見と早期のケアや治療が重要なポイントとなりますので、ニキビができる原因やできてしまった時の対処法について正しい知識を得て、悪化したり、跡が残らないように対処していきましょう。

### ●ニキビに使用される代表的な処方薬は？（当院の採用薬）

【**ディフェリンゲル**】皮脂を抑え角質を\*ピーリングしてくれる作用があり、軽症ニキビ・初期ニキビに効果があります。赤ニキビに育つ前の白ニキビを治す作用がありますので、やや広



めの範囲に塗りましょう。しかし、赤みやかゆみ・ヒリヒリ感・乾燥などが出やすいので、できるかぎり保湿をすることが大切です。また光毒性があり、日光やその他の光に対して非常に敏感になった状態となるので夜に塗るとよいでしょう。

【ベピオゲル】ニキビの原因菌であるアクネ菌に対して抗菌作用を示します。また、毛穴づまりの原因となる角質をはがす\*ピーリング効果を持ち、古い角質が除去されることで毛穴を詰まりにくくします。

(\*ピーリングとは、古い角質を取り除き、肌本来の新しい角質に取り戻すという意味)

【ダラシン T ゲル】抗菌作用と抗炎症作用があります。アクネ菌を抗菌しつつ、炎症も抑えられるため人気がありますが、長く使うことで耐性菌が発生してしまいます。長期的な使用はあまり勧められません。赤ニキビにピンポイントで使うのがおすすめです。

【アクアチム軟膏・ローション】抗菌作用のある外用薬で、ニキビ以外にも幅広く使われています。ニューキノロン系という種類で、いろいろな菌に効くのが特徴です。こちらも長期使用で耐性菌が発生するので、長期の連用は避けましょう。

【ゼビアックスローション】アクアチムと同じニューキノロン系の抗菌作用をもつ外用薬ですが、アクアチムと異なり、1日1回の塗布で良いことが特徴として挙げられます。また、こちらも長期使用で耐性菌が発生するので、長期の連用は避けましょう。

【イオウカンフルローション】イオウには、毛穴に溜まっている皮脂や細菌の排出を促す作用のほか、殺菌・殺虫作用があります。また、カンフルにはおだやかな消炎・鎮痛作用があります。

処方薬に関しては、効果を期待できる分、市販薬より副作用のリスクが高くなります。また、これらの薬剤は症状に合わせて塗り方が変わることがありますので、担当医から指示のあった塗り方を優先してください。

最後に、外用剤を使用する際には ①肌を清潔な状態にしてから使用すること、②保湿をしっかりと行うことを心がけましょう。

～お薬のことでご不明な点やご不安な点がある場合には、  
医師又は薬剤師までご相談ください。～

